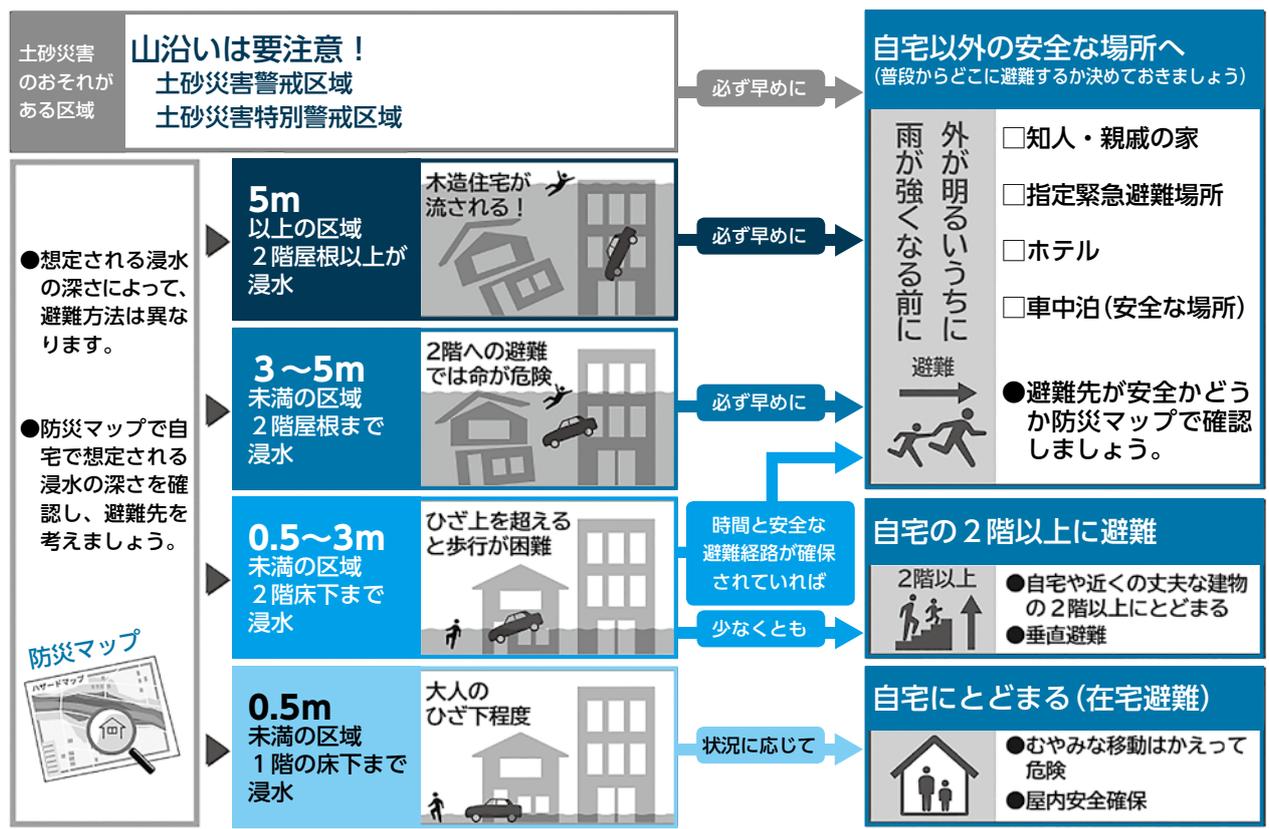


Ⅱ 自宅の災害リスクを確認し、事前に避難先を決めておく

避難とは「難」を「避」けることです。つまり、災害から命を守る行動です。自宅の災害リスクにより避難行動は異なります。市の指定緊急避難所に行くことだけが避難ではありません。知人や親戚の家、ホテル・車中泊などさまざまな避難先があります。指定緊急避難場所が過密状態になることを防ぐためにも、下の図を参考にして、防災マップで想定される自宅の災害リスクを確認し、事前にどこに避難するかを家族で具体的に決めておきましょう。

避難先の考え方



避難に備えるマイ避難カード

いざというときに備え、自分と家族の避難行動を確認し、右のマイ避難カードを作成しましょう。

マイ避難カードは、市ホームページで入手できます。



マイ避難カード

氏名 豊岡 太郎

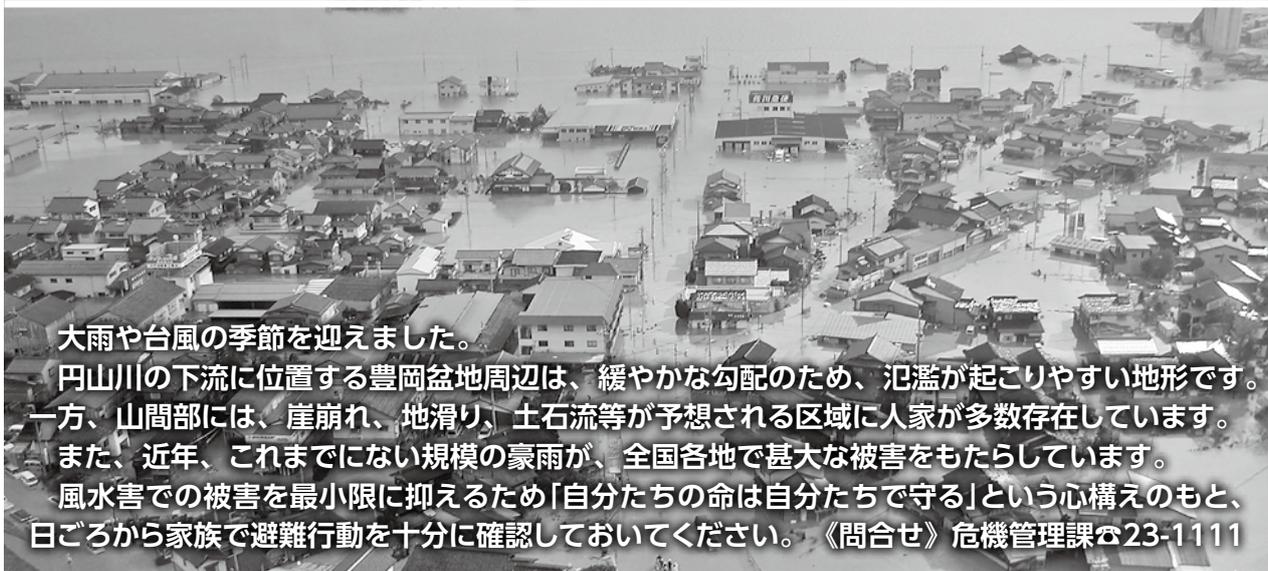
防災マップで自宅の災害リスク(災害の危険性)を確認してください。
 ▶自宅の浸水想定 3～5m ▶土砂災害警戒区域内かどうか 土砂災害警戒区域内

	最善(ベスト)	次善(セカンドベスト)	三善(サードベスト)
いつ	台風接近の前日まで	警戒レベル3 高齢者等避難の発令	警戒レベル4 避難指示の発令
どこに	親類・知人宅() ホテル()	指定緊急避難場所 ()	ご近所避難 ☆自宅より安全な 宅)
どのように	迎えに来てもらう (誰に)	徒歩()分 自家用車()分	徒歩()分
誰と	近所の()さんと	家族()人で	家族()人で
何をを持って(1～2日分を持参する)	食料品 ・缶詰・レトルト()個 ・カロリーメイト()箱 ・チョコレート()袋 ・乾燥果実()袋	飲み物 ・水(500ml) 本 ・お茶(500ml) 本 ・ジュース(500ml) 本	生活用品 ・懐中電灯・防寒着・着替え ・タオル・シート・雨具 ・携帯電話充電器・毛布 ・常備薬・お薬手帳 ・感染予防グッズ(マスク、消毒液など)
最後の手段	万が一逃げ遅れた場合は、建物の2階以上の、山とは反対側の部屋で安全確保を図ってください。		

※本紙に掲載している情報は編集時点(6月15日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

大雨や台風のシーズン到来

風水害から命を守るため避難行動の確認を



大雨や台風の季節を迎えました。

円山川の下流に位置する豊岡盆地周辺は、緩やかな勾配のため、氾濫が起こりやすい地形です。一方、山間部には、崖崩れ、地滑り、土石流等が予想される区域に人家が多数存在しています。また、近年、これまでにない規模の豪雨が、全国各地で甚大な被害をもたらしています。風水害での被害を最小限に抑えるため「自分たちの命は自分たちで守る」という心構えのもと、日ごろから家族で避難行動を十分に確認しておいてください。《問合せ》危機管理課☎23-1111

2004年10月、台風23号により被災した豊岡市(県消防防災航空隊撮影)

I 平時に自宅の災害リスクと避難行動を確認しておく

災害の被害を最小限に抑えるため、防災マップと下の避難行動確認フローを参照にして、避難先・避難を開始するタイミングなどを、あらかじめ家族で確認しておきましょう。

防災マップは、市内359の自治会ごとに作成しています。昨年に全戸配布したほか、市ホームページの「防災マップページ」またはウェブ版防災マップで入手してください。



避難行動確認フロー

1 防災マップで自分の家の場所を確認し、印を付けましょう。

はい



2 家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

風水害による避難の必要性は低いと想定されます。ただし、停電や断水に備え、最低3日間分の食料等の備蓄をしておきましょう。

はい

3 ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

4 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3
高齢者等避難

が出たら
自宅以外の安全な
場所へ避難

警戒レベル3
高齢者等避難

が出たら
市の指定緊急避難
場所などへ避難

警戒レベル4
避難指示

が出たら
自宅以外の安全な
場所へ避難

警戒レベル4
避難指示

が出たら
市の指定緊急避難
場所などへ避難

市からの避難情報にかかわらず、雨の降り方から危険を感じたら早めに避難しましょう。
高齢者の方、避難に時間を要する方は、早めの避難を心掛けましょう。